

令和元年度教育研究活動報告書

| | | | |
|------|--|----|--------------|
| 氏名 | 高山 毅 | 所属 | 経済情報学部経済情報学科 |
| 学位 | 博士（工学） | 職位 | 教授 |
| 専門分野 | 観光情報学、活用指向データベース設計、データベースと連動したWebプログラミング | | |

| | |
|-----------------------------|--|
| I 教育活動 | |
| 本年度担当科目 | |
| | 授業科目 |
| 学部 | プログラミングⅡ、プログラミングⅡ実習、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、特別演習Ⅰ、基礎演習Ⅰ、データベース、情報活用基礎Ⅱ |
| 大学院 | データベース特論 |
| II 研究活動 | |
| 現在の研究テーマ（3つまで） | |
| （1）データベースを用いた観光情報システム | |
| （2）データベースからの知識発見，レコメンデーション | |
| （3）ITS(高度交通システム)のためのデータベース | |
| 本年度を含む過去3年間の研究業績 R1・H30・H29 | |
| R1 | <p>〈学会発表〉1 近藤優月，高山毅：“坂道のマイナス要素のシステムによる緩和方式と評価”、観光情報学会第19回研究発表会講演論文集，pp.20-23, 2019.</p> <p>〈学会発表〉2 山野恵理子，高山毅：“観光ポテンシャルマップとスポットの静的特性の融合による雨の日観光プランニングシステム”，情報処理学会第82回全国大会講演論文集，5ZD-04, 2020.3. (情報処理学会全国大会学生奨励賞受賞)</p> <p>〈学会発表〉3 伊豆田皓平，高山毅，原辰徳，倉田陽平：“対話型周遊プラン作成システムCT-Plannerの柔軟性の拡充”，情報処理学会第82回全国大会講演論文集，5ZD-03, 2020.3.</p> <p>〈学会発表〉4 河崎菜々子，高山毅：“適合する観光サービスをパーソナルデータに基づき半自動的に選択するメタシステムの実装と評価”，情報処理学会第82回全国大会講演論文集，5ZD-06, 2020.3.</p> <p>〈学会発表〉5 南家千郷，高山毅：“博物館の能動的鑑賞を支援するシステム”，情報処理学会第82回全国大会講演論文集，5ZD-05, 2020.3.</p> <p>〈学会発表〉6 襟立拓馬，高山毅：“観光促進向けのキャッチコピー作成支援システム”，情報処理学会第82回全国大会講演論文集，5ZD-07, 2020.3.</p> <p>〈学会発表〉7 若松柚香，高山毅：“ランドマークの認識不可時にサポートを増強する歩行者ナビゲーション”，情報処理学会第82回全国大会講演論文集，4ZD-08, 2020.3.</p> |
| H30 | <p>〈学会発表〉1 近藤優月，高山毅：“坂道のマイナス要素を緩和するシステム”，情報処理学会第81回全国大会講演論文集，5ZJ-04, 2019. (情報処理学会全国大会学生奨励賞受賞)</p> <p>〈学会発表〉2 木田唯斗，高山毅：“旅行サイトの口コミデータに基づき，観光者の出身国ごとに対応を調節するための支援システム”，情報処理学会第81回全国大会講演論文集，6ZJ-05, 2019. (情報処理学会全国大会学生奨励賞受賞)</p> <p>〈学会発表〉3 渡邊蒼，高山毅：“日本版DMOの活性化を支援するシステム”，情報処理学会第81回全国大会講演論文集，5ZJ-02, 2019.</p> <p>〈学会発表〉4 小山紗加，高山毅：“アメニティ・ミックスを応用した回遊の満足度向上システム”，情報処理学会第81回全国大会講演論文集，5ZJ-05, 2019.</p> <p>〈学会発表〉5 有岡美緒，高山毅：“多様な食習慣への適合度を考慮したインバウンド対応料理メニュー検索システム”，情報処理学会第81回全国大会講演論文集，6ZJ-07, 2019.</p> <p>〈学会発表〉6 堀井祐磨，高山毅：“観光ガイドに載りにくい準観光スポットの情報共有システム”，情報処理学会第81回全国大会講演論文集，6ZJ-06, 2019.</p> <p>〈学会発表〉7 藤井彩子，高山毅：“カーネル密度推定のデータ導出後の活用システム”，情報処理学会第81回全国大会講演論文集，5ZJ-03, 2019.</p> |

| |
|--|
| <p>H29 〈学会発表〉1 黒田龍哉, 高山毅: “ビンゴゲームを用いた回遊・再訪促進システム”, 情報処理学会第80回全国大会講演論文集, 2ZC-03, 2018. (情報処理学会全国大会学生奨励賞受賞)</p> <p>〈学会発表〉2 長田知之, 高山毅: “サイクリングの特殊性を考慮した周遊プラン設計支援システム”, 情報処理学会第80回全国大会講演論文集, 2ZC-04, 2018.</p> <p>〈学会発表〉3 榎山直希, 高山毅: “花火大会やお祭り等のエリア系イベントの事前参加登録による混雑状況可視化システム”, 情報処理学会第80回全国大会講演論文集, 3ZC-01, 2018.</p> <p>〈学会発表〉4 尾上典弘, 高山毅: “観光スポットにおけるメインディッシュと散策用の前菜やデザートとの選定を支援するシステム”, 情報処理学会第80回全国大会講演論文集, 2ZC-05, 2018.</p> |
| <p>H28以前の主な研究業績</p> |
| <p>(1) 〈論文〉高山毅, 元田良孝ほか: “プローブパーソンによる集合知を用いた路面凍結情報提供方式の提案と評価”, 情報処理学会論文誌, Vol. 49, No. 7, pp. 2549-2573, 2008.</p> |
| <p>(2) 〈論文〉T. Takayama, S. Kikuchi, and <i>et al.</i>: “An Efficient Method for Odor Retrieval,” Springer LNAI (Lecture Notes in Artificial Intelligence)6889, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, pp.160-172, 2011.</p> |
| <p>(3) 〈論文〉金子大輔, 高山毅ほか: “Web文書のページタイプを用いた適応的分類と試作システムの評価”, 日本知能情報ファジィ学会誌「知能と情報」, Vol. 18, No. 2, pp. 319-336, 2006.</p> |
| <p>(4) 〈論文〉高山毅, 池田哲夫, 黒田成行, 武田優: “固定数の感性語対の値の組合せによる音楽データベース検索のためのインタフェース'2D-RIB” , 日本データベース学会論文誌DBSJ Letters, Vol. 3, No. 4, pp. 29-32, 2005.</p> |
| <p>(5) 〈論文〉T. Takayama, H. Sasaki, and <i>et al.</i>: “Personalization by Relevance Ranking Feedback in Impression-based Retrieval for Multimedia Database,” Journal of Systematics, Cybernetics and Informatics, Vol. 3, No. 2, pp. 85-89, 2006.</p> |
| <p>IV 社会活動</p> |
| <p>1. 学外活動(本年度1年間の活動状況)</p> |
| <p>(1) 情報コースの卒研発表会で、ゲストコメンテータとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人尾道観光協会理事企画事業委員長、尾道松江線沿線ネットワーク会議副代表、妙宣寺住職の加藤慈然氏 ・公益財団法人平山郁夫美術館学芸員の幸野昌賢氏 ・株式会社アクトシステムズアウトソーシンググループ青山第1システム課の松下留奈氏 <p>の3名を招き、観光関連事業者あるいは現職のSEとしてのコメントを得るとともに、当方で取り組んでいる研究を学外へアピールした。</p> |
| <p>(2) ゼミでの卒研中間報告会では、サテライト・スタジオで一般市民へ公開の形で行なうとともに、ゲストコメンテータとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾道市役所観光課長の中原一通氏 ・NPO法人尾道空き家再生プロジェクト代表理事(元、株式会社JTBサポートプラザ)の豊田雅子氏 <p>の2名を招き、観光関連事業者としてのコメントを得るとともに、当方で取り組んでいる研究を学外へアピールした。</p> |
| <p>(3) 関西のIT系優良企業であるNTTデータ関西、NTTビジネスソリューションズ、NTTフィールドテクノ、富士ゼロックス大阪(以上4社とも大阪市)、パナソニックアドバンステクノロジー、パナソニックプロダクションエンジニアリング(以上2社とも門真市)を自主的に企業訪問し、就職先開拓を行なう一方で、情報処理学会全国大会での4年連続受賞(訪問時点)の実績を伝え、本学のアピール向上に努めた。</p> |